

安全データシート

1. 化学品及び会社情報


化学品の名称	: パーフェクティム 30秒 バイト(キャタリスト)
会社名	: 株式会社 モリタ
住所	: 〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3丁目33番18号
担当部門	: —
電話番号	: 06-6380-2525
FAX番号	: —
緊急連絡電話番号	: 0800-222-8020(お客様相談センター)
整理番号	: S-641-02
推奨用途及び使用上の制限	: 歯科咬合採得用材料

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	: 可燃性固体 ; 分類できない 自然発火性固体 ; 分類できない 自然発熱性化学品 ; 分類できない
健康有害性	: 急性毒性(経口) ; 分類できない 急性毒性(経皮) ; 分類できない 急性毒性(吸入) ; 分類できない 皮膚腐食性及び刺激性 ; 分類できない 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ; 分類できない 呼吸器感作性 ; 分類できない 皮膚感作性 ; 分類できない 生殖細胞変異原性 ; 分類できない 発がん性 ; 分類できない 生殖毒性 ; 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) ; 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) ; 区分1(呼吸器系) 吸引性呼吸器有害性 ; 分類できない
環境有害性	: 水生環境有害性(急性) ; 分類できない 水生環境有害性(長期間) ; 分類できない オゾン層への有害性 ; 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル	: 
注意喚起語	: 危険
危険有害性情報	: ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害のおそれ
注意書き:	
〔安全対策〕	: ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 ・取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
〔応急措置〕	: ・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
〔保管〕	: なし
〔廃棄〕	: ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

※なし: GHS上の要素はないが、その他の注意事項は、4~13項等を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	濃度範囲 (%)	化学式	官報公示整理番号	CAS No.
成分				
ビニルポリシロキサン	35.9~39.6	—	非開示	非開示
白金錯体	1.23~1.36	—	非開示	非開示
無水ケイ酸	19.2~21.3	—	非開示	非開示
炭酸カルシウム	19.2~21.3	—	非開示	非開示
硫酸バリウム	19.2~21.3	—	非開示	非開示

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 気分が悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆って保温し安静に保つ。
呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で酸素吸入あるいは人工呼吸を施す。
必要に応じて、医療措置を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 付着した部分は最低 15 分間流水でよく洗い落とす。
痒み、痛み等、皮膚に異状が生じた場合は医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 清浄な多量の水で最低 15 分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように目を上下左右に動かす。
痒み、痛み等、眼に異状が生じた場合は医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはならない。
嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。
必要に応じて、医療措置を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、二酸化炭素、水噴霧、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 火災時の特有の危険有害性 : 刺激性のガス、ヒュームが発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
安全な場所から消火活動を行う。
消火水や希积水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 : ※必要に応じて以下の措置を取る。
回収作業の際には保護具を着用すること。
「8. ばく露防止及び保護措置」の記載に準じた保護具を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 土壌に飛散させてはならない。下水、河川、排水溝等に廃棄してはならない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。
本製品は、医療廃棄物として処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : ばく露のおそれがある場合には、適切な保護具を着用する。
換気の良い場所で取扱う。
ラテックス又はゴム手袋は、硬化を妨げる可能性があるため、ビニール手袋のみで取扱う。
作業後は石けんを用いて手洗いや洗顔を励行する。
- 保管 : 直射日光及び高温を避け、乾燥した換気のよい冷暗所に保存する。
3～23℃で保管すること。
内容物を他の容器に移し替えない。
混触危険物質から離して保管する。(10項参照)

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 必要に応じて適切な一般換気装置を設置する。
取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置するのが望ましい。
- 管理濃度 作業環境評価基準 : (参考)
土石、岩石、鉱物、金属又は炭素の粉じん
※粉じんの管理濃度は次式により算定される。
$$E = 3.0 \div (1.19 \times Q + 1)$$

E : 管理濃度 (mg/m³)
Q : 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)
- 許容濃度
日本産業衛生学会 (2018)¹⁾ : 第2種粉塵 吸入性粉塵 1mg/m³ 総粉塵 4mg/m³
(無水ケイ酸；結晶性シリカ含有率3%未満の鉱物性粉塵として)
第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m³ 総粉塵 8mg/m³
(炭酸カルシウム、硫酸バリウム；その他の無機及び有機粉塵として)
- ACGIH-TLV(2018)²⁾ : (TWA) 5 mg/m³ (I) (結晶性シリカ含有率が<1%で石綿を含まない粒子状物質濃度) (硫酸バリウム)
(TWA) : 時間荷重平均値(8時間)、(I) : Inhalable fraction
- 保護具 : ※必要に応じて以下を使用する。
呼吸用保護具 : 適切な呼吸用保護具(防塵マスク等)
手の保護具 : 耐薬品性の保護手袋(ビニール製)
眼の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル等
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 白色のペースト
臭い : 無臭
融点 : データなし
pH : データなし
沸点 : データなし
引火点 : 232℃
蒸発速度 : データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
密度 : データなし
発火温度 : データなし
水溶解度 : 不溶

9. 物理的及び化学的性質(続き)

(参考データ)³⁾

密度	: 2.8 g/cm ³ (炭酸カルシウム)、4.5 g/cm ³ (硫酸バリウム)
水溶解度	: 14 mg/L(25℃)(非常に溶けにくい)(炭酸カルシウム)、 溶けない(硫酸バリウム)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性	: 混触危険物質に触れると反応するおそれがある。
避けるべき条件	: 直射日光、高温
混触危険物質	: 強酸化剤、酸、アルミニウム、アンモニウム塩、ふっ素、マグネシウム
危険有害な分解生成物	: 燃焼によって、刺激性のガス、ヒュームが発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

[経口毒性]	:
・ ビニルポリシロキサン	; ラット LD ₅₀ > 16 mL/kg ⁴⁾
・ 無水ケイ酸	; ラット LD ₅₀ 3160 mg/kg ⁴⁾
・ 炭酸カルシウム	; ラット LD ₅₀ 6450 mg/kg ⁴⁾

[経皮毒性]	:
・ ビニルポリシロキサン	; ウサギ LD ₅₀ > 16 mL/kg ⁴⁾

[吸入毒性]	: 成分のデータなし LD ₅₀ : 半数致死用量
--------	---

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	:
・ 炭酸カルシウム	; 歯磨き粉等にも使用されており、実際の有害性は不明であるため分類できないとした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	:
・ 炭酸カルシウム	; 歯磨き粉等にも使用されており、実際の有害性は不明であるため分類できないとした。

呼吸器感作性	: 成分のデータなし
皮膚感作性	: 成分のデータなし
生殖細胞変異原性	: 成分のデータなし
発がん性	:
・ 無水ケイ酸	; IARC: 3 (ヒト発がん性について分類できない) ²⁾

生殖毒性	: 成分のデータなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 成分のデータなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:

・ 硫酸バリウム	; 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系への障害が報告されている。 ⁵⁾
----------	--

吸引性呼吸器有害性	: 成分のデータなし
その他の情報	: 特になし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	:	
・ 硫酸バリウム	:	水生生物に対して有害である。 ⁵⁾ 長期継続的影響によって水生生物に対して有害である。 ⁵⁾ オキシコ EC ₅₀ (48h) 32 mg/L ⁵⁾ EC ₅₀ : 半数遊泳阻害濃度
残留性・分解性	:	データなし
生体蓄積性	:	データなし
土壤中の移動性	:	データなし
オゾン層への有害性	:	データなし
その他の情報	:	特になし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	土壤に飛散させたり、下水、河川等に廃棄してはならない。 多量の場合は認可を受けた専門業者に委託する。 関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。
汚染容器及び包装	:	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	:	非該当
品名(国連輸送名)	:	非該当
国連分類	:	非該当
容器等級	:	非該当
応急措置指針番号	:	非該当
海洋汚染物質	:	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	:	容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 積み下ろし作業の際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。 火気厳禁で取り扱うこと。 高温多湿を避け、3～23℃で輸送すること。 「7. 取り扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。 輸送関係法規を厳守する。

1 5. 適用法令

消 防 法	:	非該当
労働安全衛生法	:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(リスクアセスメント対象) (名称等を通知すべき危険物及び有害物) 非該当
毒劇物取締法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	:	非該当
※粉じんを発生させる作業が発生する場合には、以下の法律に該当する場合がある。		
労働安全衛生法	:	粉じん障害防止規則(粉じん則)
じん肺法	:	健康管理の対象となる粉じん作業

16. その他の情報

引用文献:

- 1) 「許容濃度等の勧告(2018年度)」; 産衛誌 60巻
- 2) 2018 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH)
- 3) 国際化学物質安全性カード(ICSC) (国際労働機関(ILO))
- 4) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (CCOHS)
- 5) GHS分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

記載内容問い合わせ先 : お客様相談センター
フリーコール 0800-222-8020(無料)
携帯・PHP 06-7664-8080(有料)
FAX番号 0800-222-6480
電子メール e-customer@morita.com

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。